

次郎が十歳のときの話である。

健次郎は、幼わかいころ体が弱く、学校を休むことが多かった。

生おいたち

山川健次郎は、安政元年あんせいがん（一八五四）七月十七日に、若松本二之丁ほんにのちよう（今の若松二中正門前あたり）に生まれた。山川家は、保科正之公ほしなまさゆきに従つて会津にやつてきた。そして、健次郎の祖父そふのときには、特に選ばれて家老かろうの職についた。家老というのは、殿様の政治を助ける役目で、大へん重要な職である。会津では、それまでは家老になる家がきまつていて、その家の長男が家老になることになつていた。山川家は、新しく家老の仲間入りをしたわけである。

健次郎が七歳のとき、父が病気でなくなつた。そのため、健次郎を育ててく